

第5回 奈良交道路線バス(ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線)
利用者増加に向けた三者協議概要

日時 令和5年8月10日(木) 午後6時40分～午後8時30分
場所 白庭台中央集会場
出席者 利用者：あすか野6名、白庭台3名、西白庭台一丁目1名、あすか台1名
ひかりが丘1名、辻町1名、北田原町1名
事業者：奈良交通株式会社3名
行政：生駒市(事業計画課)4名
コンサルタント：地域計画建築研究所4名
話題 (1)前回の振り返りと本日の進め方
(2)取り組みを考えるワーク

概要

(1) 前回の振り返りと本日の進め方

- ・第4回三者協議ニュースを元に「前回の振り返りと本日の進め方」の説明(前回の振り返り)
- ・コンサルタントから、ニュースを用いて第4回三者協議で出された利用促進の取り組み案について紹介を行った。
- ・コンサルタントから、今回も含め三者協議の場では、地域でできる利用促進策を検討する。活性化協議会では、市全体でできる取り組みや長期的な取り組みを検討する。という旨の説明があった。
- ・コンサルタントから、前回もお伝えしたが路線再編までの猶予期間が1年間延長し、令和7年3月までとなっている。という旨の説明があった。

(本日の進め方)

- ・コンサルタントから、前回までに出していただいた案、特別委員会にご提案していただいた案を含め、この地域でできる取り組みを具体化するために必要なことを本日は話し合いたい。という旨の説明があった。
- ・コンサルタントから、今までいただいた案をテーマごとに「周知を図る取り組み」、「メリット付与の取り組み」、「機会創出の取り組み」、「現状把握の取り組み」、「運行経費負担の取り組み」、「その他の取り組み」の6つのグループに分けさせていただいた。この中で関心のあるテーマごとに、グループに分かれてワークを進めたい。という旨の説明があった。
- ・コンサルタントから、ワークの前半では、今まで出た案から選択や組み合わせを行い、この地域でやりたい・出来る取り組みを話し合い、後半では、その取り組みを具体的に進められるように何をしないといけないのかを話し合いたい。という旨の説明があった。
- ・利用者から、今回は白庭台にお住まいの方のご意見を聞く場ではないのか。三者協議の場は市民の意見を聞く場ではないのか。地域ごとに課題は異なる。という旨の発言があ

った。

- ・これに関して、行政から、この三者協議の場では住民が主体となって利用促進をしていく、維持をしていくために何が出来るかを話し合い、実際に取り組んでいく場である。三者協議の会自体も利用促進に繋げるため、バス路線の沿線地区を会場とし、前はあすか野地区で開催させていただいたので、今回は白庭台地区を会場にしたということである。沿線自治会のご意見を反映したものが、今回取り組みとして選んでいただく案となっている。という旨の発言があった。

(以下、「周知+機会創出」、「運行経費負担」の取り組みの2つのグループに分かれて意見交換)

「周知+機会創出」の取り組みグループの企画案

○企画名

- ・バスにのろう！ポスターコンクール

○企画概要

- ・バス利用を促進するためのポスターコンクールを開催
- ・対象者は市内の小学生
- ・冬休みの課題として市内全小学校で採用してもらうことを目指す

○取組の手順・役割分担

①教育委員会に依頼するための企画チラシづくり

- ・グループメンバー(加藤さん)が案を作成、それをもとにグループメンバー全員で内容について話し合う

②教育委員会・学校に依頼

- ・企画チラシを持って生駒市から教育委員会を通じて各学校に依頼する

③審査方法の確定

- ・グループメンバーで数点まで絞り込み、市役所などで市民に投票してもらう

④審査会の開催

- ・最優秀賞1名、優秀賞2名、自治会賞数名などを想定
- ・賞品は今後グループメンバーで検討。オリジナルデザイン CI-CA(シーカ)などができないか

⑤応募作品の掲示

- ・掲示場所をグループで検討
- ・できればすべての絵を掲示できるとよい
- ・市役所などの他、店舗などにも協力を求めたい

○取組体制

- ・グループメンバー全員

○取組目標

- ・できるだけ多くの子どもに描いてもらう

○今後の予定

- ・9月14日(木)18時40分に再度集まり、実施に向けた検討を進める
開催場所:白庭台中央集会所

「運行経費負担」の取り組みグループの企画案

○企画名

- ・サポーター制度の導入

○企画概要

- ・路線の存続を希望する地域住民から運行サポーター募り、寄付を募る
- ・寄付の一部を赤字補填や新規需要の開拓の取り組みに充当する
- ・運行サポーターを募るためのインセンティブ(買い物補助券、自由に使える定期券など)の検討を行う

○取組の手順

①協力店舗の発掘

- ・鹿ノ台の取り組みを参考に、近隣スーパー(いそかわ・ハーベス)に協力依頼を行う

②協力依頼の資料作成

- ・協力依頼のための資料を作成する
(路線沿線の現状・課題や、あすか野地区、ひかりが丘地区でのニーズなど)

③共通定期券の検討

- ・自治会で定期券を購入し、サポーターであればだれでも使える仕組みの検討を行う

④会員カードの検討

- ・サポーターであることを証明する会員カードを作成し、さまざまなメリットが享受できる仕組みの検討を行う

○今後の予定・取組体制

- ・あすか野特別委員会終了後に集まり、取り組みを検討する
- ・LINE グループを作成し適宜情報共有を行う

(3)今後の進め方

- ・グループごとに更に話し合いをした上で、実際に試行する。